

# 新しい文化芸術施設の整備に関する基本計画(骨子案)【概要版】

平成 28 年 1 月 岡山市

## 1 新しい文化芸術施設の整備方針と役割 (P1~5)

この「基本計画(骨子案)」は、これまでの検討経緯を踏まえ、有識者のご意見などを参考に新しい文化芸術施設の整備方針を整理し、「千日前地区市街地再開発事業予定地」での整備を前提に、基本構想の内容を具体化してまとめたものです。

○これまでの市民活動を支えるとともに、岡山市が誇れる舞台芸術、音楽芸術を育み、創り出し、発信させていくための機能を備えた施設とします。

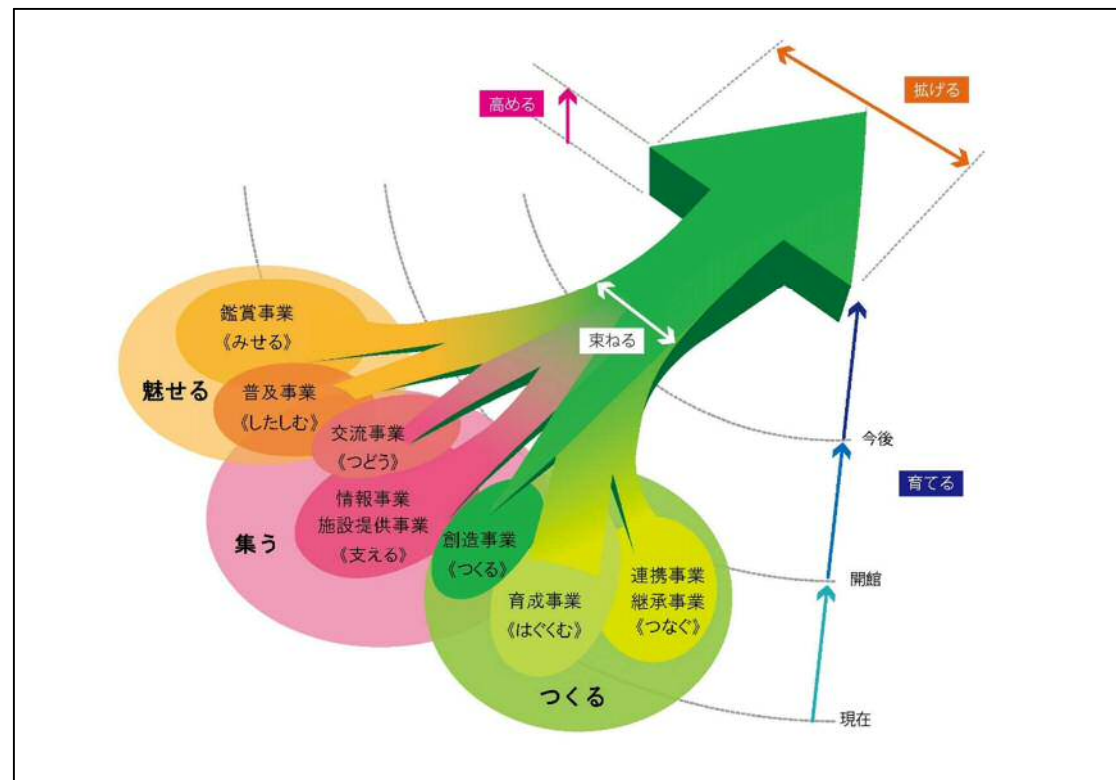
○いつでも誰でも気軽に立ち寄り、憩うことができ、世代や分野を越えた交流を支える機能を備えた施設とします。

○文化芸術の専門施設としての機能や役割を優先しつつ、公共施設としての役割も果たしていきます。

## 2 事業の考え方 (P6~7)

これまで岡山市で実施されてきた「魅せる」「集う」といった活動をより強化した事業を展開するとともに、将来的には大規模な「つくる」事業を実施し、それが「魅せる」「集う」と相互に作用しながら、岡山独自の文化芸術を創り出し、それを発信する創造型劇場を目指します。

【事業展開イメージ図】



## 3 諸室計画 (P8~16)

大ホール エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広く芸術文化活動の鑑賞や発表を支え、多目的に利用できるホール。</li> <li>○会議や大会、講習会などの集会利用にも対応。</li> <li>○プロセニウム形式の<b>舞台(開口幅及び奥行: 18m程度、舞台幅: 44m以上)</b>。</li> <li>○様々な舞台芸術の上演が可能な今日的機能を備えた舞台設備を設置。</li> <li>○<b>11t 車両の利用を想定した大ホール専用の搬入口</b>を設置、11t 車両複数台が留置き可能な駐車スペースも確保。</li> <li>○<b>1,700 席程度(1階客席 900 席程度の3層構造)の客席</b>を想定。</li> <li>○ロビー、ホワイエは、一時に多人数が入り出りに伴って配慮したエントランスを備え、開場前の利用者や高齢者、障がい者、子どもなどの利用に配慮した構造。</li> </ul>
中ホール エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>○舞台設備を充実させ、主に舞台芸術に利用できるホール。</li> <li>○中小規模の大会や講習会などにも対応。</li> <li>○プロセニウム形式の<b>舞台(開口幅及び奥行: 14.5m程度、舞台幅: 37m以上)</b>。</li> <li>○創造活動に対応できる今日的機能を備えた舞台設備を設置。</li> <li>○<b>11t 車両の利用を想定した中ホール専用の搬入口</b>を設置。</li> <li>○<b>800 席程度(1階客席 600 席程度の2層構造)の客席</b>を想定。</li> <li>○ロビー、ホワイエは、一時に多人数が入り出りに伴って配慮したエントランスを備え、開場前の利用者や高齢者、障がい者、子どもなどの利用に配慮した構造。</li> </ul>
創造支援 エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>○舞台芸術の創造活動や日常的な市民の練習活動を支えるためのスペース。</li> <li>○最も大きいものは300㎡程度の面積を確保し、可動格納型の客席を備え、小規模な創造活動や発表会、鑑賞事業などにも活用。</li> </ul>
交流促進 エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いつでも誰でも気軽に立ち寄り、憩える多目的なオープンスペース。</li> <li>○人々の交流の機会や賑わいを創出する空間。</li> </ul>
管理エリア ・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設管理のために必要な事務室及び関係諸室、機械室等の他に、施設利用者のための多機能室などを設置。</li> </ul>

【舞台イメージ】

